



talk! talk! talk! タレント・鈴木あきえさん



タレント 鈴木あきえさん

TBS土曜日の人気番組「王様のブランチ」でリポーターとして活躍中のタレント・鈴木あきえさん。高校時代にチアリーディング部として全国5位に輝いた経歴を持つ彼女の印象は、明るくはつらつとした女性。仕事がきかっけで写真に興味を持つようになり、過去が写る写真を見返すことが今の自分を見つめ直すきっかけになるという。そんな鈴木さんに写真への思いをたっぷりと語っていただいた。

プロフィール

すずきあきえ。1987年、東京都生まれ。2004年、グラビアアイドルとしてデビュー。多くの雑誌のカバーを飾るほか、女優としてドラマや舞台でも活躍中。また、毎週土曜日に放送の情報番組「王様のブランチ」のリポーターとしてお茶の間の人気票を獲得している。主な出演作に、ドラマ「僕と彼女の×××」（連続ムービードラマ）「花嫁は厄年」（TBS系）「おとなの眼鏡 クリスマス」（千葉テレビ）ほか。

舞台に「ひょ〜いドン!」（松下修演出）「比翼の鳥/ファイティング・サトコ」（秦健日子演出）ほか。DVDに「Angel Kiss〜スマイルコロシウム〜」「19のLove Letter」「Makes You Happy」ほか。現在、「王様のブランチ」、「高校講座・化学」（NHK）にてレギュラー出演中。オフィシャルブログ「エンガワとさつまいも」

Beginning 出会い

仕事で深まった 写真への興味、楽しさ

写真を始められたきっかけを教えてください。

1年半前にインターネットラジオのお仕事をさせていただいて、それが写真をテーマにしたトーク番組だったんです。もともと写真を撮ることは好きで、高校生の頃にレンズつきフィルムで撮影していたんですが、その番組がきっかけでデジタルコンパクトカメラを持つようになり、写真に対しても興味が深まりました。

番組の内容を具体的に教えていただけますか？

毎回テーマを決めて一般の方から写真を募集し、お送りいただいた写真を見ながら、フォトグラファーの方と私でいろいろお話をするというものでした。写真は番組サイトにアップされて、写真を見ながらインターネットラジオの放送を聞けるんです。いろいろ写真を見ながら、フォトグラファーさんが「この写真はこうだね」「ここをこうした方がいいね」と批評してゆくの、私も自然に写真の勉強ができました。

仕事を通して、写真をより知ることができ、学ぶこともできたんですね

はい。番組の中で「あきえの今週の1枚」というコーナーがあって、自分の撮ってきた写真をフォトグラファーの方に見せていたんです。毎回これだ！と確信の持てる写真を必ず持っていかなくてはならなかったので、毎日写真を撮ることを意識するようになりました。フォトグラファーさんに「写真は心が写るもの、写真には真実が写るんだよ」と言われ、そういったことを考えながら写真と接することで見え方も変わっていきました。1年半続いた番組の中で、どんどん写真がおもしろく感じるようになりましたね。

プロのフォトグラファーさんから直接、いろいろなことを教えていただけたのは素晴らしいですね。

技術的なことも、哲学的なことも教わりました。私の写真を見ていただいた際に、もちろん厳しい意見をくださることもありましたが、私もリスナーの方々と一緒に成長していったようで、回を重ねるごとに「腕上りがってきたんじゃない？あきえちゃん」と言ってもらえることが増えました。それは本当に嬉しかったですね！

番組で写真に深くふれて、何か自分の中で変わったことはありましたか？

写真に対して深く考えたことがなかったので、新しい価値観や写真の見方を知れてさらに面白く感じるようになりました。撮影をするために散歩するようになり、絶対にカメラを持ち歩くようになったんです。それに、撮影時に技術的な面も気をつけるようになりました。たとえば、以前は撮りたいものがあったとしたら、その被写体を構図の真ん中にどーんと配置するような写真を撮っていたんです。でも番組後は少し考え、空もきれいだから入れてみよう、縦位置を横位置にしてみようなど全体的に景色を意識し、仕上がる画をある程度イメージしてから、シャッターを切るようになりました。勉強して、学生の頃より1歩深く写真を楽しめるようになったと思います。

Pleasure 楽しみ

仕事の合間にも 仲間と作品撮り！

普段は何を撮られることが多いですか？

お仕事で遠くに行かせてもらうことが多いので、きれいな景色や忘れたくないと思った瞬間をカメラに収めています。同じ被写体でもいろいろなアングルから撮るので結構何枚も、何枚も撮ってしまうんです！「王様のブランチ」のロケでは、レポーターの子たちの間で写真が流行っていて、みんなでカメラを楽しんでいます。

どんなふう楽しまれているのですか？

スタッフのテレビカメラマンさんが自分の一眼レフカメラを持って来てくださったことがあって、その一眼レフカメラをロケの合間に貸してもらって、レポーターの子たちが順番に写真を撮るんです。みんな撮りたがるので、もうカメラの取り合いです（笑）。みんなで作ろうと盛り上がり、ひとり1枚ずつ写真を撮って見せ合ったりしているんです。

鈴木さんはどういった作品を撮られたのですか？

偶然出会った、ベンチに座っていらっしやっただおじいちゃんとおばあちゃんです。ちょうどふたりが顔を見合わせた瞬間にシャッターを切りました。仲良く温かい感じがして、私も将来こういうカップルになりたいなと思って撮ったんです。タイトルは「ずっと一緒に」です。みんなで作る写真を撮って見せ合う時間はロケ中の楽しみですね。



ね。

楽しそうなみなさんが、目に浮かびます（笑）。仕事では撮られる側になるわけですが、撮られる際にポイントとしていることはありますか？

笑顔を作るときは、撮られる瞬間だけ笑うと“ニカッ”と不自然な顔になってしまうので、楽しいことを頭の中で考えるようにするんです。そうすれば自然な笑顔で、いい表情になるんです。笑顔を作ることに関していえば、高校時代にチアリーディング部（関東2位、全国5位の実力）に所属していたことも役に立っているかもしれません。チアの大会では採点基準の中に「目の輝き」という項目があるんです（笑）。演技は2分半なんですけど、800メートル走を全力疾走したときと同じだけ力を使うといわれているんです。本当につらいんですけど、そういうときに先輩たちから「笑って！ 笑って！」と叩き込まれてきたので、今もその頃の経験がお仕事に活かされていると思います。

チアリーディングも演技として魅せるという面がありますが、お仕事で自分を魅せる場合とはまた違ったものでしたか？

そうですね.....、リポートのお仕事でいえば共通点があるように思います。チアは人を応援することが基本です。応援する相手をいかに盛り上げて、明るい気持ちにしてあげられるかが大事。レポーターの仕事も、いかに楽しいか、いかに面白いかを伝えることが重要なので、見てくれる方々が明るい気持ちになれるようなリポートを心がけています。そういった部分は同じです

Photo's 作品紹介

日々成長し続ける鈴木さんの 愛すべき写真たち



好きな花☆
好きな色☆
好きな空気☆
何でも、自分の大好きなものが集まった瞬間をよく写真におさめちゃいます。
やっぱりかけがえのない一瞬だと思うから♪



キレイなお花の花びらが今にもとれちゃいそうで...でも、負けずにキラキラと咲き続けるこの花にパワーをもらいました☆私も、こんなたくましい人間になろう(^_^)



タイに行った時に撮った1枚。
ふと空を見上げると、雲がゾウの形に見えました！！
ゾウをたくさん見てたからかな（笑）



こちらもタイで。
海辺で、とても神秘的で謎めいた建物を見つけました。
夕焼けがキレイな時間に、すかさずシャッターを切りました(* ム ノノ



タイで撮ったお気に入りの写真。
ムエタイの少年達。
まだまだ小さい少年だけど、大きな勝負！！
言葉は通じないけど熱い思いはものすごく伝わった(^^)



七五さんの時に、家族みんなでこの滝の前で写真を撮りました。
この間、約10年ぶりに再びここに来ました☆
当時と全く変わらないこの滝の雰囲気にもまれ、即座にシャッターをオン☆
滝は変わらないけど、あたしはどれだけ大きくなってるのだろうo(^-^o



最後に…
うちの海ぼうず…じゃなくて、弟をご紹介します(笑)
テーマは海ぼうず！
「僕、お姉ちゃんに写真撮られすぎて、疲れました…」

Future これから

一眼レフカメラをマスターすることが目標

写真と接していて、どんな瞬間が一番好きですか？

撮っているときよりも、撮ったものを見返している時間の方が嬉しい気持ちになれます。撮ってよかった～！ とすごく思えるんです。写真がなかったら、忘れてしまうことっていっぱいありますよね。でもアルバムを開くと、そのときの感情が蘇ってくる。今もチアリーディング部のメンバーの写真を見返すと温かい気持ちになれますし、以前一緒にお仕事させてもらった方の写っている写真を見ると「ああ、このときの方頑張っていたな」と思い返せて、パワーをもらえるんです。

お話を聞いていると「残すこと」が鈴木さんの中で重要なようですね。

そうですね。インターネットラジオの番組で一緒にさせていただいたフォトグラファーさんにも「ときは流れているんだよ！」「一瞬は返ってこない、だからいかに一瞬一瞬を収めるかなんだよ！」と格言をいただいたので。その影響もあるかもしれません。

鈴木さんにとって、時間を収められるという点が写真の最大の魅力ですか？

はい。やはり二度と戻れない時間をとどめておけるという点はすごくいいところ。こんなこともあった、あんなこともあったと振り返ることが私にとってとても大切なことなんだと思います。過去を振り返ることによって、以前の私はあんなことを感じて、こう行動したから、今の自分がいるんだなと意識することができるんです。それが、今の自分の状況や感情も冷静に見直すことにつながる。今を見つめ直せるということが、多分私にとっては魅力なんだと思います。

これから写真で挑戦したいことはありますか？

一眼レフカメラで写真が撮れるようになりたいですね。ついこの間も「王様のランチ」のリポーターの子同士でカメラのカタログを見て、「これいいね、欲しいねー！」と盛り上がってました。でも私どうしても、一眼レフカメラで撮るとぶれてしまうんです(笑)！ 難しいなと思うんですが、やっぱりすごく写りがきれいなので、欲しいですね。まだまだ先の話ですが、将来自分の写真をたくさん撮りたいと思っているので、それまでには一眼レフをマスターしたいです。

では最後に、これからの鈴木さんのお仕事に関する意気込みをお願いします。

今はリポーターのお仕事が多いのですが、舞台も少しやらせていただいているので、将来は両立できるようになりたいなと思います。演技のワークショップに1年間通っていて、演技をするのがとてもおもしろく感じるので女優のお仕事も頑張りたいと思っています！



[> コンテンツトップへ戻る](#)

※掲載している情報は、コンテンツ公開当時のものです。

株式会社 **ニコン** 映像事業部
株式会社 **ニコン** イメージング ジャパン

© 2019 Nikon Corporation / Nikon Imaging Japan Inc.